



商工会青年部員におけるITの活用に関するアンケート調査【速報】

平成30年7月12日開催の中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会において、地域の中小企業等のIT化に関する議論があった。
それを受け、全国商工会青年部連合会では、下記の通りアンケートを実施した。

記

調査期間：平成30年8月20日～8月31日

調査対象：都道府県の商工会青年部員

調査方法：Googleフォームにて実施。周知はSNS等を通じ、商工会青年部ならではのネットワークを活用し、スピード感をもって実施した。

回答件数：8,425件（総部員数：46,351人※平成29年4月時点）

調査結果：主要項目に関する調査結果は次の通りであった。

回答者のフェイスシート

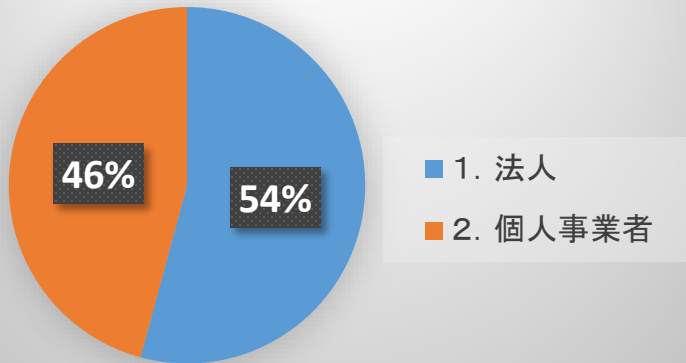
①回答者の事業形態

1. 法人 4,569
2. 個人事業主 3,856

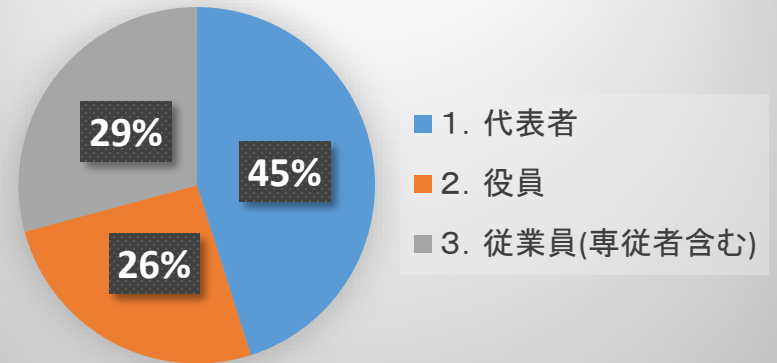
②回答者の役職

1. 代表者 3,805
2. 役員 2,171
3. 従業員(専従者含む) 2,449

①事業形態

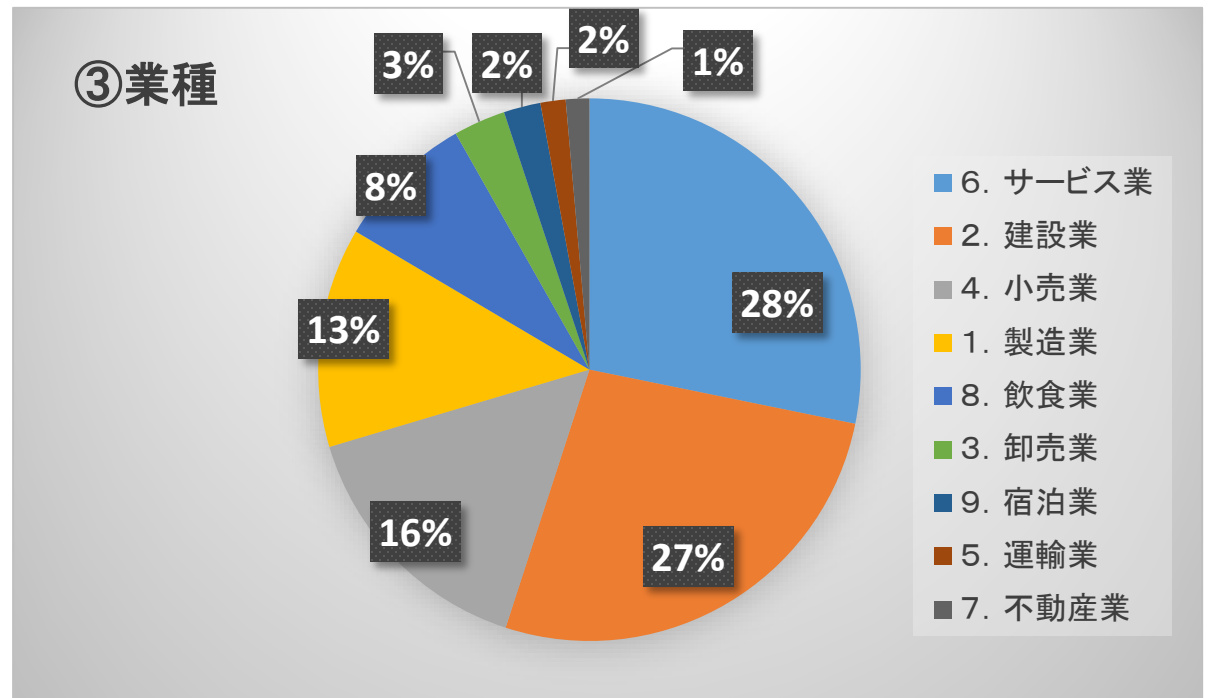


②役職



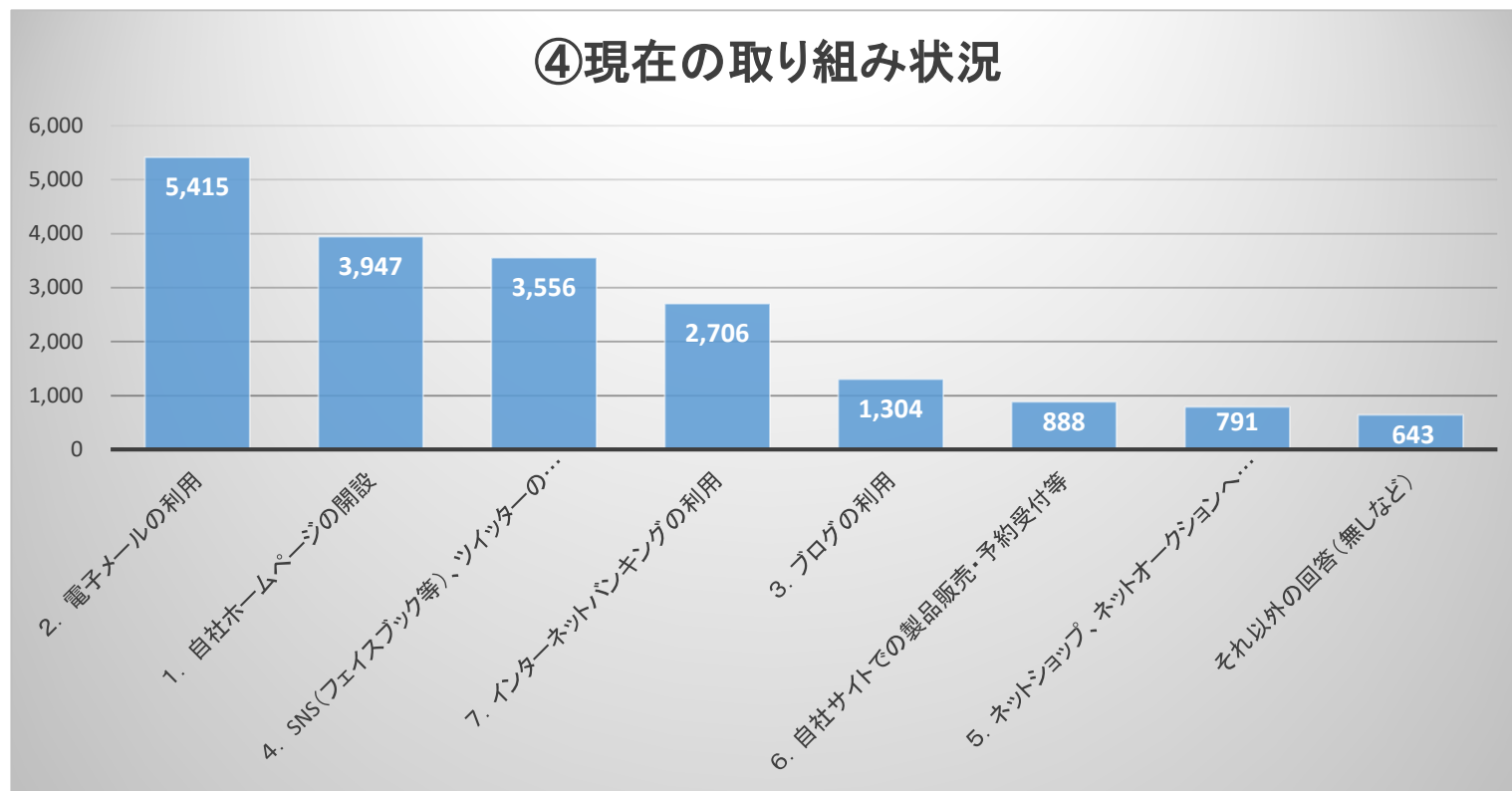
③業種

1. 製造業	1,108
2. 建設業	2,258
3. 卸売業	268
4. 小売業	1,303
5. 運輸業	132
6. サービス業	2,381
7. 不動産業	122
8. 飲食業	702
9. 宿泊業	151



主要項目における調査結果について

設問 貴社の取組状況について、すでに実施しているものに該当するものをすべて選択してください。【複数選択】



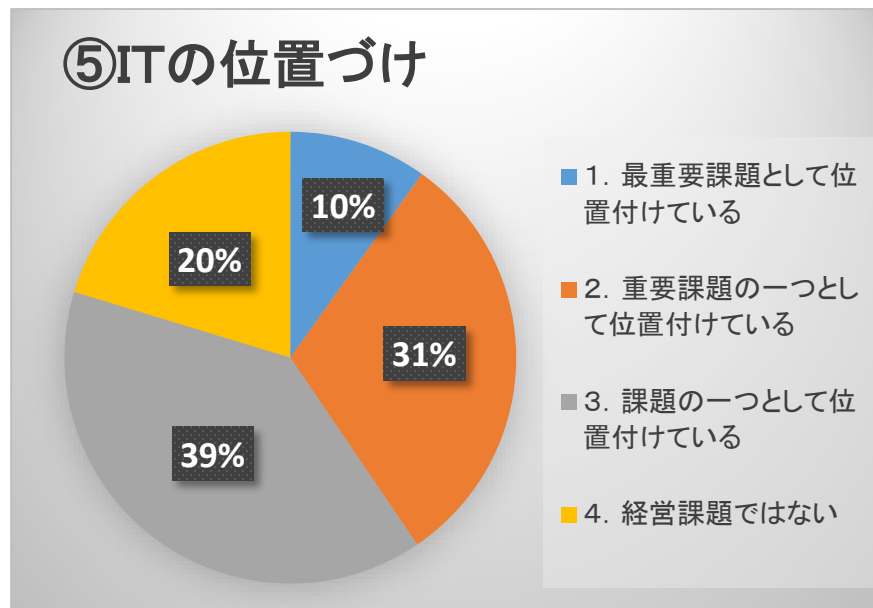
コメント

- ・回答者の約6割以上が電子メールを、約4割以上がSNSを実施しており、地域の多くの若手事業者のIT化が進んでいると考えられる。
- ・「インターネットバンキング」の利用者が回答者の約3割を超えており、町村部の事業者において、銀行の統廃合による決済部分でのIT化が進んでいると想定。

設問 貴社の経営課題のなかで、ITの導入・活用をどのように位置付けていますか。
該当するものを1つ選択してください。

⑤ITの位置づけ

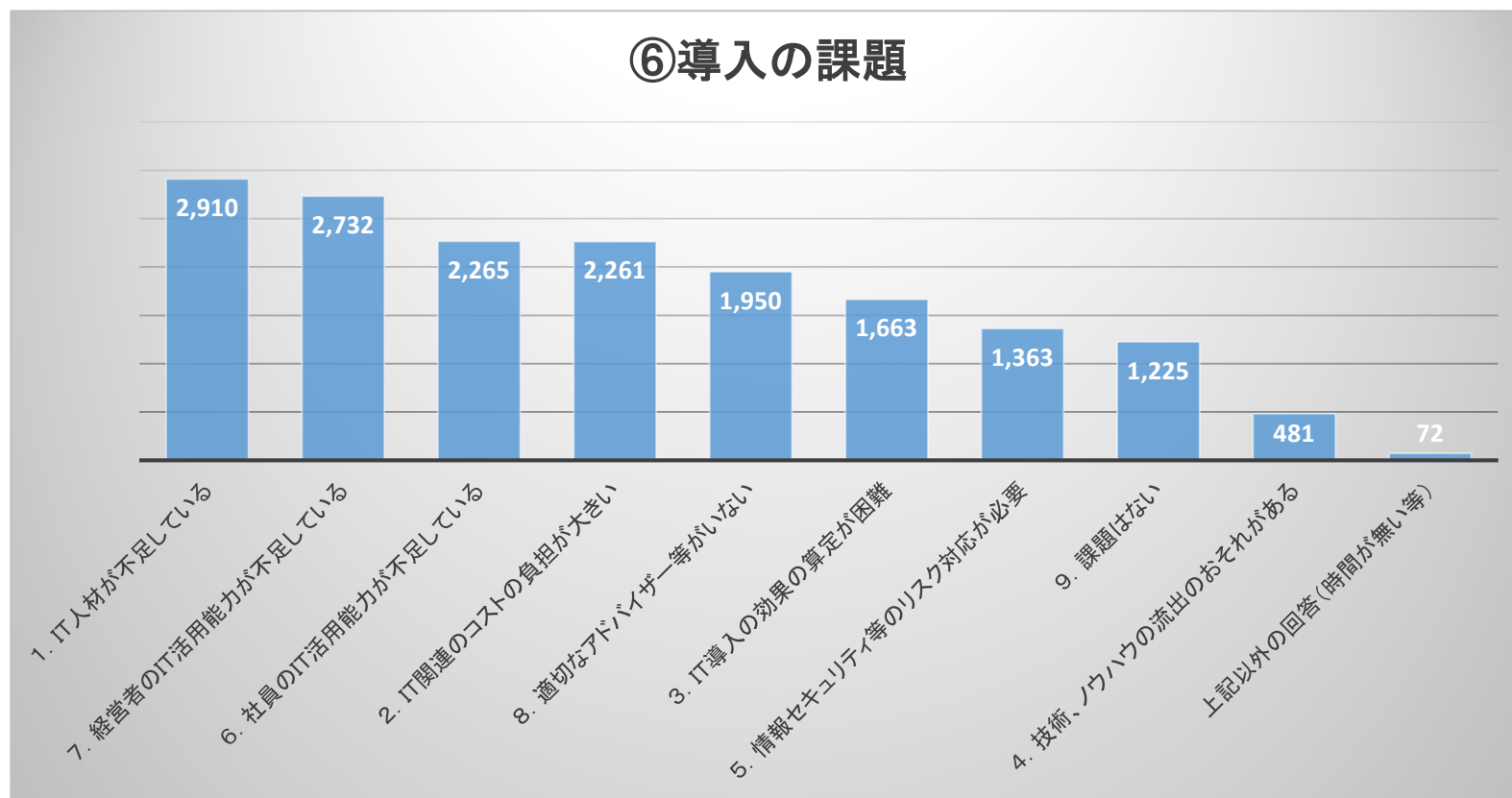
1. 最重要課題として位置付けている
840
2. 重要課題の一つとして位置付けている
2,584
3. 課題の一つとして位置付けている
3,305
4. 経営課題ではない
1,696



コメント

- ・事業者において、ITの重要性は高く、回答者の約8割がその重要性を認識している。

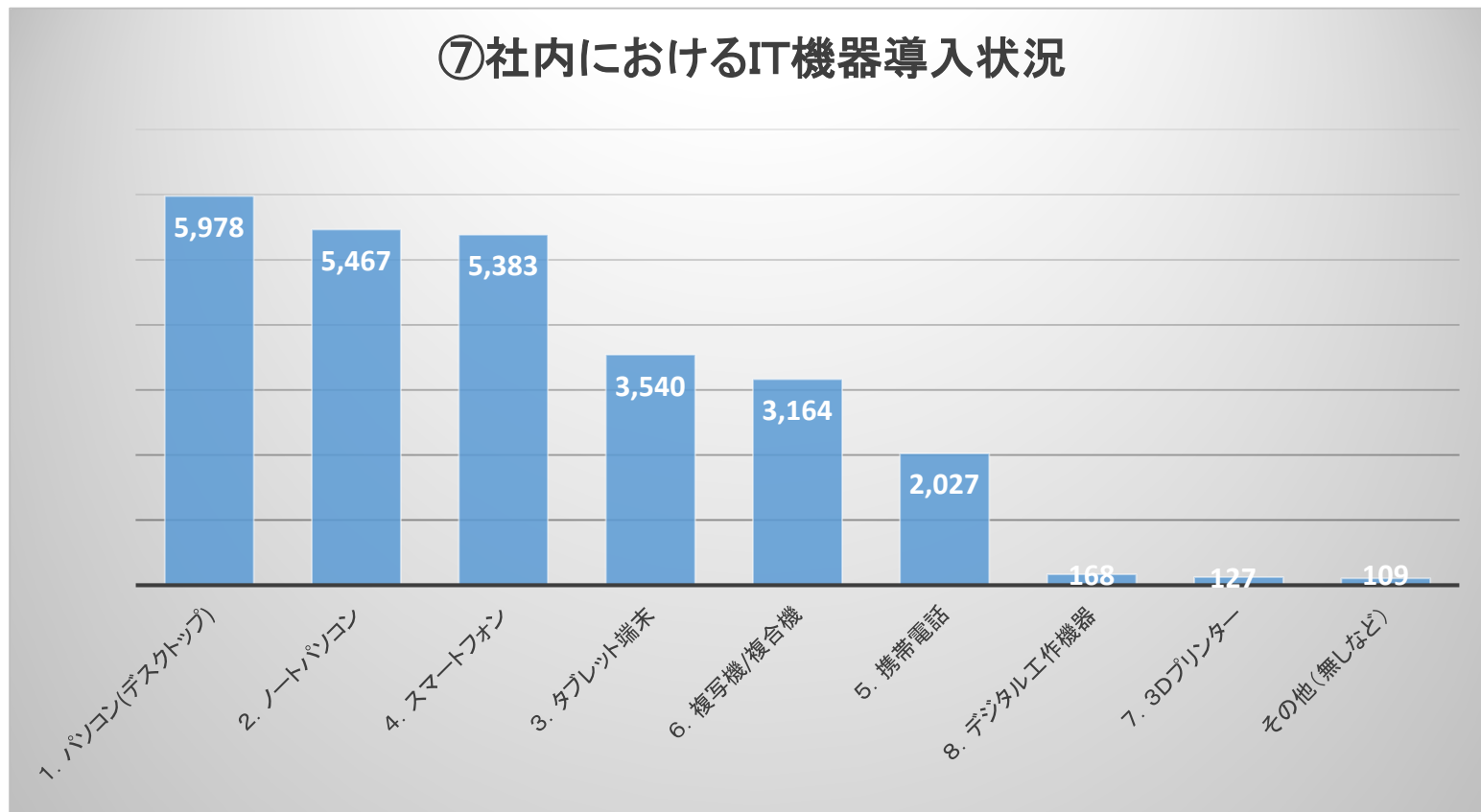
設問 ITの導入・活用における課題について、該当するものをすべて選択してください。
【複数選択】



コメント

- ・IT化の重要性を認識しつつも、導入の課題として「内部・外部の人材の不足」と「導入コストの負担」を回答した事業者が約3割。

設問 貴社におけるITの導入機器について該当するものをすべて選択してください。
【複数選択】



コメント

- ・約6割が「パソコン」や「スマートフォン」を所有しており、SNS活用の比率も高いことから、地域の若手経営者・後継者においてもIT化はある程度進んでいると推定される。